

鳥羽湾に浮かぶミキモト真珠島。

# MIKIMOTO PEARL ISLAND



【運営時間】  
1月～3月 11時～17時  
4月～10月 9時～17時  
12月 9時～16時(2月は火曜日)3日間休業)  
【入園料】  
大人1,500円 小中学生750円  
・高校生以下(2名同行)大人1,200円 小中学生600円  
学生団体 600円 高校生700円 中学生500円 小学生400円  
【駐車料】  
車 500円/24時間  
バス(乗合) 1台(1時間間隔ごとに250円)  
JR-近畿 鳥羽駅下車 徒歩約5分

【公共交通機関ご利用の場合】  
JR近畿新幹線 鳥羽駅  
名鉄バス 鳥羽駅  
大観覧車  
バスをご利用の場合  
JR近畿新幹線 鳥羽駅  
名古屋IC IC 鳥羽  
名鉄バス 鳥羽  
JR 鳥羽  
大観覧車  
伊勢C  
伊勢C  
伊勢C  
伊勢C

【お問い合わせ】  
〒517-8511 愛知県豊橋市鳥羽町1-1  
TEL:0599-25-2628/FAX:0599-25-2655  
<http://www.mikimoto-pearl-museum.co.jp>

三キモト真珠島

# MIKIMOTO PEARL ISLAND



豊かな自然につつまれ、おだやかな

ミキモト真珠島は、明治26(1893)年に御木本幸吉が世界で初めて真珠の養殖に成功した島です。昭和26(1951)年の開島以来、国内外から訪れる人々に真珠の魅力をお伝えしています。



## 真珠博物館



真珠のことがすべてわかる専門博物館。  
歴史、美術、工芸、科学、産業など多角的な視点で  
真珠の魅力を解説します。

**1F** 今日、真珠はわたしたちの身边に宝物であるからかわらず、成長のメカニズムや育成的な養殖方法についてはあまり知られていません。真珠の大きさとくみと重さのすべて、真珠もつる銀杏の色と光沢の秘密を、映像やパネル、数多くの標本などを通じて、科学的にご紹介します。



そして、選り抜かれた真珠がさまざまな工程を経て、どう輝くまでにいたるかすべて生まれかわませ、実際に使われている道具を手に取りながらご覧ください。

（写真：御木本幸吉記念館）

## 海女の実演

豪華真珠の発明は海女のお仕事なくてはありえません。ミキモト真珠島では、昔ながらの白い綿着に身をまとった海女たちが作業の実演をおこない、真珠養殖を支えてきたその姿を今に伝えています。

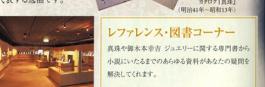


（写真：御木本幸吉記念館）



### レバーレンズ・図書コーナー

真珠と御木本幸吉 ジュエリーに関する専門書から小品にいたるまでのあらゆる資料があなたの疑問を解決してくれます。



## パールプラザ

IPバルーンショップでは、ミキモトのパールジュエリーや真珠島だけのオリジナルジュエリーなどを多彩に取り揃えています。IPストラップ「ア波幸」では、美しい鳥羽港を模しながら、名物「真珠くん」と一緒に歩いていただけます。



パールクラウン



カツラグミ



御木本玉座



光珠

## 美術工芸品

貴重な真珠をアートするため、御木本幸吉は世界中の博覧会にむけて、真珠をふんだんに使用した美術工芸品を作りました。

日本の伝統技とジュエリー製作技術の

結合を集めた芸品の数々を堪能ください。



御木本玉座



光珠

## 島内散歩

この島は島守り続けてきた守護様、綾地和、長良などの御前があるとされる大おきに境内には心懽えの御殿の跡の井戸もあります。

野鳥の巣  
山奥に位置する鳥の巣は、御木本幸吉が手作りした御庭山、御木本幸吉の娘は、野鳥たちの優しい歌が聞こえています。

## 御木本幸吉記念館



真珠に人生のすべてを賭け、郷土を愛してやまなかった御木本幸吉。その波瀾に満ちた人生には、幸吉と夫、忍しまた続けた夫の夫、真珠養殖の可能性を示してくれた鶴岡院長、後任住吉博士ら、さまざまな人々の出会いがあった。幸吉は大きな夢を胸に、結果を出していたのです。ここは、どのようにして御珠織を決意し、事業に情熱を傾けていったのかを学ぶことができるエピソードや当時の写真、文献を交えてご紹介し、人物御木本幸吉に迫ります。



幸吉の御藏のトリックス「大連」



幸吉の生家・三之屋（阿波町）の復元

見晴台

島の端に浮かぶ帆風手島や志摩島などの島が望める小さな島で、行き来の船を眺めながら「くつきのひ」と呼ぶ時お出迎えてください。

## 遊歩道

夏には御木本幸吉が朝日湯原といつのびのひより、海を眺めながら歩く様子を想像できるのが遊歩道です。